

令和2年8月30日(日) 日本を美しくする会

## 第280回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 横田中学校

参加者数 38名

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
この会は20数年続けております。皆さんがMDSでのトイレ
掃除の経験があると聞きました。普段は10人～15人でやって
おりますが、いつも言っているのは次の日トイレがきれいに
なったねと思って頂けるような掃除をしたいと思っております
今日はやる以上は一生懸命やりましょう。きれいになると気持ち
良くなりますし、さわやかな気持ちになります。折角のご縁です
<b>2、体験感想発表</b>
<b>・田原 尚晴くん(横田中学校2年生)</b>
最初は臭いのも臭いのも嫌でしたが、やっていく内にその気持ちが
消えて、自分が他の人のために掃除をしていることを思うと
スッキリした気分になりました
<b>・廣田 湧くん(横田中学校3年生)</b>
Mランドでやったことはありますが、トイレは今日が初めてです
最初はやりたくなかったのですが、皆さんに教えてもらって
きれいになって気持ちもスッキリしました
<b>・領家 颯太くん(横田中学校3年生)</b>
最初はやり方が分からずにいたのですが、皆さんに優しく教えて
頂きとてもトイレがきれいになって良かったと思います
これからも学校の掃除も取り組みたいと思います
<b>・久保田 薫心くん(横田中学校3年生)</b>
自分は2階の男子トイレの和式をしました。最初は抵抗が
ありました。でも段々きれいになり、皆でやるとチームワークも
深まり、こんな機会を大切に、次も綺麗にしたいと思えます
<b>・田淵 侖麻くん(横田中学校1年生)</b>
みんなと一緒に真剣にトイレを綺麗にすることに集中して
できて良かったと思います

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・大島 睦己くん(横田中学校3年生)</b>
2階の女子トイレをしましたがとてもきれいで掃除をするところが無い
のではと思いましたが、結構汚れていて、トイレ掃除は終わりが無いな
と感じました
<b>・中沢 良闊くん(横田中学校3年生)</b>
掃除をしていく中で気付くと自分が汚れを探していました。周りを見る
注意力や人との協力、いろんなことがサッカーに通じると思います
<b>・野津 美詠さん(横田中学校養護教諭)</b>
今日初めての体験でしたが、便器の掃除ができませんでした。トイレの
スリッパや汚物入れを掃除してきれいになりました。こんな機会が有り
良かったと思います
<b>・石田 智史さん(横田中学校教諭)</b>
この会に参加したのは10数年前でした。その時は小学校で便器が
小さくて低いので腰が痛くなったことを思い出します。トイレ掃除をすると
トイレ掃除を誰かがしてくれていると気づきます。高速道路のトイレで
おばちゃんトイレ掃除をされている。そうすると自分がトイレ掃除を
したことがあると声をかけます「お世話になります、ありがとうございます」と
そうすると相手の方も声をかけてきます。人生が本当に豊かになります
今日のような掃除は毎日ではできませんが、沢山の気付きがあるので
明日からの学校生活、サッカー、普段の生活に是非活かしてください
<b>・山崎代表世話人より</b>
今日はありがとうございました。私共も掃除の専門家ではないので
色々なことに疑問を持たれるかもしれませんがこうして皆さんと一緒に
掃除ができたことを喜んでおります。みんな真剣に一生懸命掃除をされて
良かったと思います。コロナ禍の中実施することを悩んだりしましたが
こうして皆さんに喜んでいただけて良かったです。ありがとうございました

<b>4、鎌山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b>
<b>生きる知恵</b>
現在人の不幸は、あり余る幸せを与えられているにもかかわらず、満足していないことです。
逆に、取るに取らない小さな苦勞を自分自身で、勝手に大きくしていることです。
幸せに生きる為には、大きな不幸や災難を小さく受け止め、小さな喜びを大きく膨らますことです。
かつての日本人は、無意識のうちにそういう知恵を身につけていたように思います。
<b>習慣が人生を変える</b>
習慣を変えるのは、簡単にできることではありません。
たとえば、右利きを左利きの習慣に変えるだけでも、大きな努力を必要とします。
しかし、人生をよりよく生きるためには、悪い習慣を良い習慣に変えることが何よりも大事なことです。
習慣を変えるために必要な努力から逃げてはなりません。
<b>5、森信三先生の教え 一語千鈞より</b>
<b>生き方の基本</b>
1・退職後は、一日に最低3枚のはがきをを書くこと
2・退職と同時に「一人雑誌」を始めること
3・月一回有志との読書会を開き、研修会にも積極的に出かけるようだったら、退職教師の生活とて
ほぼ理想に近いといつてよいでしょう。
・わが子の家庭教育は、まず朝の挨拶から・・・その口開きは、当分まず親の方から・・・
一家の最高責任者たる主人が、時には妻に「おはよう」と言えたら、ほぼ理想に近い
・しつけはお説教ではできない。これが根本原則。かつ躾の根本責任者は母親であり、母親の実行以外にはありません
<b>6・平澤 興先生語録より</b>
<b>平澤 興 一日一言より</b>
・誠実などというものは窮屈な固いものではなく、それをこなせれば、これほど温かく
これほど明るく、これほどあじのよいものはあるまい。
・少々くらい賢くなさそうでも誠実で、仕事に対して人に対して本当に誠を尽くすような人は、必ず何かになります。
これは、私が七十年生きてきて、いろいろな例を見てきて、そう思うのであります。
・マイナスのない人生はそれだけ幅が狭く、マイナスに打ち勝ちさえすればむしろマイナスが大きい程プラスも大きくなる